

教育実習に 向けて

教育の意義目的について

明豊中学・高等学校

校長 小野 二生

教育の役割とは、「いかに自立した人間をつくるかどうかにある」と思います。今、子どもたちを取り巻く環境は様々な課題を生じています。大人や子どもの規範意識はどこにあるのでしょうか？こんな時代だからこそ教育の大切さが問われています。人を人として作りあげるのは教育しかないのです。

その教育を行う教員つまり、どんな先生が今必要なのでしょうか？私は次の三つの条件を持つ教師が必要と思います。

第一の条件は「子どもが好きなおことです」。何よりも子どもが好きで、子どもたちのために、何ができるかを常に考えられる人です。子どもが嫌いな人は教師にはむきません。子どもを理解することは大変なことだと思います。そのためには、「いろんな本を読んでください。」そして生徒にいろんな発問のできる知恵を身につけてください。

第二の条件は「精神的にタフなおことです」。モンスターペアレンツといわれる親の問題や説明責任が問われる学校の在り方等、教師の仕事も昔とは違った対応が求められています。だからこそストレスを感じないようにすることが必要です。

最後の第三の条件は「常に情熱を持つことおです」。生徒たちに「もっと勉強してみたい」という向上心をかき立てることが教える者のあこがれのベクトルです。「学ぶあこがれをかき立てることができる教師」はつねに学ぶ情熱を持っています。子どもから学ぶことはたくさんあります。自分が未熟であることを自覚し、その分精一杯準備し情熱を持って語りかけるときに、その未熟さがプラスとなって生徒に伝わります。そして、だまされても裏切られても子どもに寄り添う力を持つことや「だまされる勇氣と



だまされない知恵をもつこと」が必要です。

決してうまい授業をやろうと思わないでください。うまくやろうと思ってやった授業はつまらない授業となることもある。下手でもいいから、生徒に理解できるように必死でやった授業の方が生徒には伝わります。難しい問題を易しく教えるための勉強が大事です。また、失敗を恐れず、チャレンジする勇氣が必要です。失敗は人を大きくします。

そして教育は一人ではできません。曹洞宗の開祖である道元の「正法眼蔵」に「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」とあります。これは仲間がいて、その雰囲気知らず知らずのうちに染まって行くのだ。ということです。多くの仲間と議論をし、勉強することが大事だと思います。

教育とは、夢を語ること。夢を描くことを教えることが教師の仕事だと思います。

最後に、「DREAM CAN DO、REALITY CAN DO」というNASAの門に書いている言葉を贈ります。

「夢を思い描けば、必ず 現実にできる」

「疑問を持つこと」

別府市教育庁学校教育課

課長補佐 松丸 真治

先日の講義では、ご清聴ありがとうございました。学生の皆さんの感想を読ませていただく、「疑問を持たせる」ことの難しさを書かれています。

私が教職についた頃は、「教師は教える」という気持ちが強くて、子どもに「疑問を持たせる」ことを考えていなかったと記憶しています。そのため、授業をしていると、教室に入ってきた蜂を目で追い「先生、蜂が入ってきたよ」と言ってくる子、時計を眺めて「あと何分」と呟く子もいました。子どもたちは、心の中で「授業面白くない。早く終わってよ。」と思いつつ、私の授業に付き合ってくれていたのだと思います。

そんな退屈な授業をしていた私が、子どもに疑問を持たせることの大切さを学んだのは、初めて赴任



した学校の先輩教師の授業を見てからでした。どんな授業かという、授業のはじめに前の時間の終わりの様子を思い出させ、「こんな話で終わったけど納得するか」と子どもたちに聞くと、すぐに10数人が挙手しました。指名された子どもは、「納得する」という立場で、3分から5分は話し続けていました。その間に、周りの子どもを見ると、小さな声で「そんなんおかしいやん」と資料を読み返す子や、「先生、付け加えがある」と途中で手を挙げる子もいました。ほとんどの子が、友だちの話を集中して聞いていました。

私は、「こんな授業ができないか」と強く心惹かれ、その先輩教師の授業や日頃の様子を見るようになりました。すると、先輩教師もそうでしたが、子どもも授業中に「分からん」という言葉を多く聞きました。分からないと言って相手の考えを否定しているのではなく、『あなたの考えに疑問を持ったから説明して』という意味合いが強く、言われた子どもは「分からせよう」と説明を始めていました。

さて、生徒指導も、「なぜ、この子はこんなことをするのか」と、教師が疑問を持つことから始まり、問題行動を子どもの困りであるとして受け止め、その困りを解決していくことだと思えます。

教育実習では、子どもとの触れ合いの中で、様々な疑問を持たれることと思えます。その疑問を一つずつ解決していく中で、子どもの良さや不器用さなどが見えてきて、どのような支援をしていけばよいのかと悩まれることと思えます。その時は、担当の先生や周りの先生方に、子どもに対する自分の見方や支援方法を相談してみてください。きっと違う見方や支援方法を助言していただけることと思えます。

最後になりましたが、皆さんの教育実習での努力が、子どもたちとの良い思い出となることを祈っております。

教育実習が教職の原点に

別府市教育委員会学校教育課

指導主事 千葉 優子

昨年春まで、私は中学校の英語の教員でした。もし私が「教員になりたいと思った訳は」と問われたら、まず自分自身の教育実習中の経験をあげると思えます。何時間もかけて準備をし、不安を抱えて行った初めての授業。初めて子どもたちに発問を投げかけたその時、瞳を輝かせて「はい」と手を挙げた子どもたちに出会いました。簡単な発問であったと思いますが、それでも「わかった」と意欲的に反応してくれたその様子。私にとっていつも授業づくりで目指す姿となりました。「できた、わかった」から生まれる喜びを教室に広げたい、今日もあのキラキラした瞳に出会いたい、その思いで試行錯誤を繰り返しました。



また、教育実習中にご指導いただいた先生方との出会いにも大変感謝しています。当時の指導教官に教えていただいた教授法がいつも私の授業の基本です。とくに学んだことは、1つひとつの授業に責任を持つという姿勢の大切さです。年間指導計画に基づいて単元計画があり、さらにその中で本時の授業の位置づけがあるということ。「木を見て森を見ず」という言葉を添えて、授業が場当たり的になってはならないことを教えていただきました。子どもたちにどんな力をつけたいかを明確にして授業に臨むことは授業者の責任だと思えます。子どもたちにとって、1つの授業はその内容の1度きりの学びの機会。十分に子どもたちが役に立ったと実感できる授業内容であるべきです。また、達成目標を子どもたちに示していくことも大切です。どんな子どもも「できるようにになりたい」と向上心を持っています。向上心を引き出し継続するために、「授業でこれができるようになれば1年たてばこういう力が身に付く」という道筋を提示することが必要だと思えます。

「子どもがいきいきと活躍し、意欲的に学びに向かう授業づくり」のために不可欠だと思ったことがあります。それは授業づくりが日頃からの十分な子ども理解の上で成り立つということです。一人ひと

りの子どもの得意なことや好きなこと、興味のあることなどから適切な教材選びや授業の手立てを考えると子どもがわくわく乗ってきます。また、子どもの家庭や友だちとの人間関係の様子、その日の体調などの生活背景を知って授業に臨むと、適切な関わりができ、信頼関係が生まれてきます。子どもの適性を知って指導すれば、その子の理解を促し自信をつけることにつながります。子どもにとって「いい先生」とは、自分のことをよく理解して教えてくれる先生だと思います。そんな先生が授業をしてくれることが一番の幸せです。

私が教育実習で教職の原点とも言える経験をしたように、皆さんがこれから向かう教育実習も実りあるものになると思います。たくさん子どもや先生との素敵な出会いを通し、多くの学びがありますよう応援しています。

教育実習の実際

明豊中学・高等学校

教頭 樋口 康子

教育実習について不安に思っている人もいますが、生徒と関われる素晴らしい機会であり、教育現場に足を踏み入れる皆さんには強みがあります。幼、小、中、高、そして今も大学で教育を受けている皆さんは、教育の受け手としての体験や気持ちが十分に分かっているという事です。心に残っている先生を思い浮かべながら、具体的な目標を頭に描いて教育実習に踏み込んでみましょう。



事前の大切なポイントを4つあげました。(1) **教育実習の目標・内容を理解する**。教育実習の目標は「教育の実際を体験し、教材研究の方法と指導法の基礎を研究し指導に必要な資質を高める。」ことにあります。教員免許状取得のための必修科目であり、学びの到達点、そして教師になるための出発点になるものです。「授業」の実習だけでなく特別活動や生徒指導等、あらゆる教育の仕事について学びます。(2) **教育者であると同時に被教育者としての自**

覚を持つ。生徒からは「先生」と呼ばれ、同時に実習をしている学生ですから被教育者でもあります。日々成長、発達をとげている児童・生徒に与える影響の大きさを忘れず「社会人」として自覚と責任のある行動をとってください。(3) **実習校の教育の理念について理解する**。実習生は実習校の方針に基づいて行動しなければなりません。学校の特色、生徒の状況、学校行事等を調べましょう。各学校のホームページからは手軽に情報収集できます。必ずチェックしましょう。(4) **実習オリエンテーションを受ける**。実習校に事前連絡・訪問をして実習指導教師やホームルーム担当教師と打ち合わせを行います。教育実習の説明・行事予定・日課表・授業時間・配属されるクラス等の説明を受けます。

いよいよ**実習開始**です。3つの場面に分けました。① **導入過程**…職員朝礼からスタートしますが、それまでに職員室の黒板を見て日程の確認等を行います。1週目は自分の教科に加えてHR、行事、クラブ活動、他教科の授業、生徒とのコミュニケーションを通じて生徒とのかかわり方を学び、生徒理解を深めましょう。② **実習過程**…実際に教壇に立ちます。授業の大切さはお伝えしましたが、授業毎に指導教諭の指導を受けながら学習指導案を作成します。「導入」では、今日は何々について学ぶという、その時間の目標をしっかりと伝えます。また、「展開」ではアクティブラーニングの手法を取り入れた授業など、導く力が特に求められるようになってきました。③ **整理反省過程**…授業終了後は指導教官の指導を受け、次の授業運営の向上を目指します。最終週には研究授業を行い、反省会では指導教官を始め、授業を参観した多くの方にアドバイスや指導をいただきます。

その他注意すべきことを挙げておきます。① **守秘義務・個人情報保護に努める**。(この実習で知り得た学校、生徒等に関するすべての情報を口外してはならない。)② **実習日誌はその日のうちに指導教師に提出する**。③ **欠勤、遅刻、早退する場合には必ず事前に届け出る**。④ **実習控室の整理整頓に努める**。

教育実習の実際について実習心得・取り組み方・指導法等、本校の実情に則してお話ししました。教育実習は社会のどの分野にも役立つインターンシップという側面を持っており、教育者としての能力や適性を自ら問い直す機会でもあります。この機会を有効に使って、ぜひ自分の進路についてしっかり考

えていただきたいと思います。

本校の校訓は夢・勇気・愛です。実習生を受け入れる学校も積極的に皆さん方の夢の実現に協力したいと思っています。教師というやり甲斐のある目標に向かってしっかり努力してください。

AIにできないこと

大分県教育センター教育相談部

指導主事 永嶺 ひろ子

教育実習の事前の指導で「期待される教師像」について講義をさせていただきました。会場で皆さんにお会いしてまず驚いたのは、全員がスーツ姿だったことです。担当の先生にお聞きすると日頃の講義もスーツ姿とのこと。社会人・教師になるために身だしなみにも注意を払い、意志を高くもち学ばれている姿に感動しました。



講義では、「生徒指導・教育相談」に関する話を中心にさせていただきました。「生徒指導」という言葉には、「厳しい」「先生が怖い」「問題行動への対応」などのような印象があるかと思いますが、平成22年3月に文部科学省から出された「生徒指導提要」によりますと、「第1章生徒指導の意義と原理」の中で生徒指導を次のように定義づけています。

「生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動」

つまり、児童生徒を未熟な子どもとして支配しようとするのではなく、一人のかけがえのない存在として尊重すること、一人一人の個性を大切にすること、よりよい姿へ成長するために支援することを常に意識しておくことが必要です。学校は集団生活の場であり、ややもすると、子ども一人一人の個性を見失いがちになります。私も教師として生徒がルールに従っていない行動をとったときに、その子どもをしっかりと理解しようとせずに「このような行動をとったあなたが悪い」というメッセージを発信したことがあり、大いに反省をしています。人はだれ

でも強み・弱みをもっており、弱みを正すことばかりにとらわれず、強みを認め、自信をもたせる指導が子どもの成長につながっていくように思います。

教育活動のあらゆる場で「生徒指導の3機能」（自己存在感を与える・自己決定の場を与える・共感的人間関係を育成する）を生かしていくことが重要です。教師が先回りしてあしなさい、こうしなさいと指示するだけでは、児童生徒が自己決定する場がなくなります。じれったいかもしれませんが、自己決定するまで「待つ」ことも必要です。

英オックスフォード大学でAI（人工知能）などの研究を行うマイケル・A・オズボーン准教授が、将来ロボットなどの機械に代わられ消えてなくなる職業をリストアップしています。日英の研究として、小学校を中心に幼稚園から大学までの教員が「残る職業」に入っているのに、高校だけが上がっていないそうです。高校では学習指導に重点が置かれていると捉えられており、それではコンピューターでも代替可能と判断されたようです。教科についての専門性を大切にしつつ、生徒の心をケアする力をつけることにより、「残る職業」に入りうるのだそうです。AIにはできない児童生徒を理解することとしっかり寄り添うこと、その力をつけることが教師に求められていると思います。